一般質問（要旨）

清水信之

狛江再生モデルは見えるか

問 ①三位一体改革に市長は消極的だ。分権自治改革競争の第1ラウンドで狛江市は敗者になったという自覚が大事だと考えるが。②緊急行動計画には骨太改革が見えていない。長と議会、教育委、農業委改革など地方行政体改造を含めて自立自治体像を描くべきだが。

答 ①この数年間各自治体で取り組んでいるが、勝者・敗者を決めるのは早過ぎる。一定の推移を見てその結果がどうなったのか見極めなければ結論は出せない。②私自身これらの仕組みに手をつけることが骨太改革であるとは認識していない。

市基本構想をくずかごへ

問 ①イトーヨーカドーのオープンに市の商業プランで対抗できるか。②産業政策を欠いた「水と緑の住宅都市」構想が地域再生モデルの足かせになっていると考えるが構想の再検討は。③商工会丸投げでなく、TMOなど市民ぐるみの専門機関創出の財源を今後考えよ。

答 ①大型店と共存し得る商店街づくりを目指して振興の努力はしているが困難な面もある。②社会情勢の推移や市民意識の変化も踏まえ見直していくことが必要と考える。③街づくりに当たっては関係部署と連携し、調査・研究を行っていく。

E―こまえ地域戦略のススメ

問 商業振興と地域活性化に不可欠なのが地域情報化計画だ。全国的にも有名な三鷹市では平成9年自治省の地域情報化指針に合わせ計画策定し、SOHOベンチャー育成や三鷹モールにつながっている。地域ポータルサイトやバーチャルモール開設は狛江でも不可欠だ。

答 将来的には、各商店の魅力的で個性ある情報や生活情報を集約できる総合サイトを構築できれば、市民への利便性も増し商業振興策に役立てられると考えている。IT基盤整備を充実しながら研究していく。

栗山欽行

緊急行動計画の目標達成は可能か

問 ①目標の評価、従来の主張との乖離をどのように感じているか。②まちづくり総合プランは財政状況が好転するまで棚上げし、緊急行動計画の達成に全力を尽くすべき。③改定後の国保税、1世帯・1人当たりの調定額、多摩地域での順位は。

答 ①目標達成のために全力を尽くす以外ない②プランがどうあるべきなのか見直しをしていきたい。緊急行動計画の妨げにならないことを前提に見直し作業をしている③1世帯当たりの調定額は16万4330円、1人当たりの調定額は8万5892円で多摩地域1位。

「ごみ有料化」歳入増加分は環境対策費に使用すべき

問 ①有料化の目的は。②緊急行動計画は収支均衡型の財政を目指している。リサイクルセンターは収支均衡が図られているか。③歳入増加分は将来需要・環境負荷低減のために生かすべきと考えるが。④カラス対策用ごみ袋を導入する考えは。

答 ①資源循環型社会を形成していくためにごみの総量の抑制と財源の確保。②リサイクルセンターの収支均衡は取れてない。③行動計画の中で目標設定しており、財政が安定できたときに検討する。④カラス対策の袋は今後検討する。

安心・安全なまちづくりについて・PARTⅡ

問 ①犯罪発生情報の伝達が遅いと思われる。情報の発信伝達の正確性を期すためにメール配信する考えは。②ホームページ上に緊急情報を載せる考えはないか。③多摩地区の半数以上の自治体が安心・安全条例を制定している。制定する考えは。

答 ①情報の共有化は大事。研究していきたい。②犯罪情報がどれだけ得られるか研究する。③具体的な必要性が見えれば条例を考える。

高橋清治

市民活力を行政にどのように活かすかについて

問 ①防災関係の活動団体は②大災害時の職員参集体制は③新潟中越地震援助隊の報酬は④民生・児童委員の改選状況と手続きは⑤民生委員対象のアンケートで進退に触れる設問は慎重にすべきではないか⑥民生委員公募を考えているか⑦体育指導者依頼法、人数、報酬は。

答 ①消防団・地区消防隊・防災会等②地震災害時職員初動マニュアルに明記③通常の出動費等④3年に1回の改選期に約3分の1交代。前任者等の推薦者から人選⑤委員の気持ちに配慮し対応⑥今は考えていない⑦団体を通じて。42人。2時間半3000円。

谷田部和夫

これからの市政運営について

問 ①17年度予算の取り組み状況②基金の現状③緊急行動計画策定の経緯と推進計画との整合性④退職者不補充に対する対応策⑤保育園のあり方の検討⑥敬老金⑦まちづくり総合プランの見直し⑧使用料・手数料の適正化⑨補助金等の見直し等の考え方について伺う。

答 ①一次、二次経費に分け枠配当②残高は合計4億1500万円③緊急行動計画は推進計画の中に取り込む④多様な雇用形態の検討などで対応⑤市民福祉推進委員会に諮問⑥節目支給⑦進めるか延伸するか調整⑧光熱水費等議論⑨交付基準等をつくり17年度予算に反映。

石黒実

生活環境充実に向けた安心安全な道づくり行政について

問 ①要望の強い道路整備をどう進めるのか②狛江駅南口から都道に接する市道を歩行者や自転車が通行しやすい改良計画ができないか③猪駒通りの段差改良や歩道、道路整備を④道路が暗い怖いと聞く。犯罪防止の上から整備を⑤水道道路出口交差点の再度の安全整備を。

答 ①整備方針等施策に基づき進めていく。②歩行者がゆったり歩ける道路に改善したいと考えている。③根本的解決には時間をかけ検討する。④設置要綱を基本とするが検討する。⑤都に交差点改良工事の要望を提出している。

危機的状況となった狛江市の財政について

問 敬老金見直し、国保税増税、保育料や下水道料金値上げ、使用料・手数料等一気にここで緊急行動計画をやらなければならないところまできている。行革が遅かった。なぜ早く市民に知らせなかったのか。今回の改正は市民に痛みを伴わない見直しと思っているのか。

答 必要な時期必要な対応をとってきたが、昨年7月に国の地方財政対策の転換があり、それを受けとめ努力している。そういう推移をご理解いただきたい。市民には負担増、事業の縮小、カットをお願いしていくことになるのでご理解を求めていかなければならない。

鈴木利一

野川緑地公園の管理等の進捗状況について

問 本年第2回定例会で質問した野川緑地公園の管理等について、その後の進捗状況等を伺う。

答 この公園は、開園から相当の年月が経過しており、修景施設や管理施設を初め休養施設、遊戯施設などの各所に老朽化が生じてきている。このため維持・管理については年次計画を持って改善に取り組んでいる。

道路整備等の進捗状況について

問 前回の定例会において質問した道路整備等の進捗状況について伺う。都道114号線の御台橋から調布境までの進捗状況について伺う。

答 都道11号線（狛江通り）のうち小田急線高架橋から世田谷通りまでは西側は完了し、東側を工事中。二小前交差点から調布境は用地測量中。都道114号線御台橋から調布境は、舗装、ガードパイプ等は完了。2月から植栽を行い、年度内に完成する予定。

シルバーピアの管理・運営・入所基準等について

問 市内にあるシルバーピアの管理・運営・入所基準等についての現状と今後の取り組み、計画について伺う。

答 管理・運営・入所基準等は狛江市高齢者住宅管理条例及び施行規則で定めている。平成5年度事業を開始し市内に3棟45戸ある。住宅マスタープランでは平成27年度までに32戸の供給が必要とあるがさまざまな面で環境が整っていないため開設予定は立っていない。

須田繁美

防災計画の改訂とその計画の詳細について

問 狛江市で指定の避難場所の多摩川河川敷は京浜事務所では危険場所としており、南北の岩戸には一時避難場所がなく、隣接区との協定締結を要望する。また、災害防止の観点から電研前道路の建設凍結の中止をお願いしたい。

答 震災時における広域避難場所はいわゆる多摩川左岸一帯である、小河内ダムの決壊は想定していない。南北岩戸地区の問題は近隣市との協定を模索していく。電研前道路については一定の財源確保ができた段階で整備を進める。